

# 当社事業所における省エネ改修実績

関西電力では既設建物の省エネルギー化推進を目指し、当社事業所において経年劣化に伴う空調システムの更新に合わせ断熱改修と照明器具のLED化を行いました。改修後建物の設計一次エネルギー消費量は基準値に対して**37%削減**を達成し**BELS ☆☆☆☆**を取得したほか、**既存建築物省エネ化推進事業**の採択を受けました。

## 建物概要

建物用途：事務所  
面積：1,286㎡※1  
構造：鉄筋コンクリート造  
階数：地上3階 地下1階  
竣工：1979年(新築), 2019年(改修)

## BELS ☆☆☆☆ 取得

建築物省エネルギー性能表示制度(Building-Housing Energy-efficiency Labeling System, BELS)※2 において、既設建物の改修工事でありながらも☆☆☆☆を取得しました。

一次エネルギー消費量 (BEI) : 0.63  
年間熱負荷係数 (BPI) : 0.83  
(数値は基準値に対する比率)



## 既存建築物省エネ化推進事業(国交省) 採択

「既存建築物省エネ化推進事業」は、建築物ストックの省エネルギー改修を促進するために国が工事費用の一部を支援するものです。東大阪配電営業所での改修工事による省エネ効果が認められ、平成30年度に本事業の採択を受けました。

## 導入技術

- (1) 断熱性能の強化
  - ・屋根断熱材の強化
  - ・窓ガラスへの日射調整フィルムの採用
- (2) エネルギー計測システムの導入
  - ・用途別、時刻別の消費電力を見える化
- (3) 高効率な設備機器の採用
  - ・高効率ビル用マルチエアコン
  - ・全熱交換換気システム
  - ・LED照明器具

※1 既存建築物省エネ化推進事業の対象部分の面積

※2 国土交通省が定める、新築・既存の建築物における省エネルギー性能を第三者評価機関が評価し認証する制度です。性能に応じ5段階で☆表示がされます。